



学 会 通 信

第 110 号

2024 年 5 月 31 日発行

目次

2024 年度第 31 回 日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 1 報】 ……2
国際学会 ICoME2024 のご案内 ……4
2023 年度第 2 回研究委員会 研究会のご報告 ……6
2024 年度第 1 回研究委員会 研究会のご案内 ……7
論文投稿のご案内 ……8
理事会議事録 ……9
学会費納入のお願い, 入会者・退会者 ……11

2024 年度第 31 回 日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 1 報】

大会実行委員・年次大会委員会

第 31 回年次大会は、2024 年 10 月 5 日(土)・6 日(日)の 2 日間、鹿児島女子短期大学で開催されます。
<https://www.jkajyo.ac.jp/introduction/access/>

1. 時程

<1 日目>

- 12:00－ 受付
- 13:00－13:50 総会
- 14:00－14:50 大会企画 講演（東京学芸大学教職大学院・堀田龍也先生）
- 15:00－16:30 シンポジウム
- 16:40－18:10 一般研究発表(1)
- 18:20－18:50 新・理事会
- 19:00－ 懇親会

<2 日目>

- 09:00－10:30 一般研究発表(2)
- 10:40－12:10 一般研究発表(3), 企画委員会企画「現職教員のための実践研究はじめの一步」
- 12:10－13:10 昼食
- 13:10－15:10 課題研究

2. 申込み・締め切り等のスケジュール

- 6 月 10 日（月） 課題研究プロポーザル受付開始
- 7 月 10 日（水） 課題研究プロポーザル締切
- 7 月 31 日（水） 課題研究結果通知・大会参加申込開始・一般研究発表申し込み開始
発表原稿の提出期限は 9 月 2 日（月）です。

3. 大会参加申込（Peatix を使用）

課題研究・一般研究の発表申込をされた方も大会参加申込が必要です。
また、9 月 2 日（月）までが事前申込（大会参加費・懇親会費）期間とします。

4. 大会参加費・懇親会参加費

事前申込は 9 月 2 日（月）まで、それ以降は当日扱い
懇親会に参加希望の方は、あわせて Peatix にて申し込み
会員 3,000 円(事前) 4,000 円(当日)

非会員 4,000 円(事前) 5,000 円(当日)

学生会員 1,000 円(事前) 2,000 円(当日)

学生非会員 2,000 円(事前) 3,000 円(当日)

※ただし、非会員の現職教員は無料

懇親会 6,000 円 (学生会員・学生非会員 4,000 円) 9月2日(月)までの事前申込制
(予定) TO THE HERBS(トゥーザハーブズ) 鹿児島店

鹿児島県鹿児島市高麗町 17-5-2F (学会会場より徒歩 6 分)

5. 課題研究 (大会 2 日目 13:10-15:10)

「情報活用能力」を育成するための授業設計とカリキュラム

前田康裕 (熊本大学), 小林祐紀 (放送大学), 山口好和 (北海道教育大学)

GIGA 端末が全国的に配備され、授業での活用も推進されている。しかし、その一方で、端末の活用が目的化され、従来の教師主導型の授業から脱しきれておらず、学習の基盤となる資質・能力である「情報活用能力」の育成が必ずしも十分ではないという状況も見える。様々な校種の教科の授業の中でどのように「情報活用能力」を育てればよいのか。そのためにはどのような条件が必要なのか。授業設計だけにとどまらず、カリキュラムや教員研修などの要因も考慮しながら、多様な研究分野の構成員を要する日本教育メディア学会ならではの議論を行っていきたい。

探究を多様化するアートベース・リサーチ

岸磨貴子 (明治大学), 川島裕子 (関西大学)

高等教育における研究活動はもちろん、初等教育、中等教育でも探究を軸とした教育がはじまったが、具体的にどのように進めていくことができるかその方法論についての議論が十分にされていない。探究活動の多くは、情報活用の流れで、問い(テーマ)をたてて、調べて、まとめて、発表するという流れが多いが、探究と実践(または児童生徒にとってのリアリティ)と乖離したまま行われている現状もある。ABR は、探究を実践と密接に関連させながら、自分軸で人や社会と関わるアプローチでもあり、探究学習へのあらたなアプローチを示すことができる。また、前年度の「教育メディア研究におけるアートベース・リサーチ」でも多くの方にご参加いただいたことから、本学会での関心も高いといえる。

生成 AI の活用とメディア・リテラシー

大久保紀一郎 (京都教育大学), 佐藤和紀 (信州大学)

生成 AI の急速な進歩により、児童生徒の学習や校務でも生成 AI の活用が導入され始めています。生成 AI を新しいメディアの 1 つだと考えれば、生成 AI の活用に対するメディア・リテラシーとその教育に関する研究の重要性も増しています。しかし、生成 AI の活用に必要なメディア・リテラシーやこれまでのメディア・リテラシーとの違いについては十分検討されていません。このような状況をふまえ、本セッションでは、生成 AI 時代に必要なメディア・リテラシーやその育成などに関する理論的、実践的な研究を幅広く募集します。

6. シンポジウム (大会 1 日目 15:00-16:30)

(仮)みんなで考える地域 DX：ウェルビーイングの実現にむけたメディア研究

登壇者：辻 慎一郎先生（鹿児島国際大学）ほか

コーディネータ：山口 好和先生（北海道教育大学）

国際学会 ICoME2024 のご案内

研究委員会（国際研究会 ICoME 担当）

ICoME (International Conference for Media in Education) は、日本教育メディア学会 (JAEMS)、韓国教育情報メディア学会 (KAEIM)、中国教育工学会 (CAET)、アメリカ TCC (Teaching, Colleges and Community) との連携によって開催される国際学会です。

ICoME2024 は、本学会がホストとなり日本にて開催されます。前回の 2020 年大会は、新型コロナウイルス感染症によりオンライン開催となったため、実に 8 年ぶりの日本開催となります。開催場所および日程は以下の通りとなっております。発表申し込みはすでに締め切られていますが、キーノートやパネルディスカッション、発表視聴のための参加申し込みは 2024 年 7 月 31 日まで受け付けております。

ICoME は、研究者や教育関係者、大学院生や学部生の貴重な国際的な学術交流の機会となっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

■日時：2024 年 8 月 21 日（水）－23 日（金）

■場所：明治大学中野キャンパス（東京都中野区）

※オンラインでの発表はありません

■テーマ：Performative Approach to Media Studies in Education

※テーマに限らず、教育メディアに関するその他の発表も広く募集しています。

■ウェブサイト：<https://2024.icome.education/>

※参加申し込みは全て上記ウェブサイトにて受け付けております。

※学会に関する最新の情報は随時ウェブサイトにてお知らせいたします。

■プログラム

21 日（水）：Opening Ceremony / Keynote / Roundtable Session

22 日（木）：Panel Discussion / Concurrent Session / Closing Ceremony

23 日（金）：Workshop

※21 日の Roundtable Session 後に、各国の参加者間でのネットワーキングを目的としたインフォーマルセッションを用意していますので、奮ってご参加ください（参加無料）。

※22 日の Closing Ceremony 終了後に懇親会を計画しております（別途参加費が必要）。決定次第ウェブサイト上でご案内いたします。

※23 日（午前中のみ）は様々なテーマで参加者間の交流を企図したワークショップが提供されます。

■プレゼンテーションの種類と論文の提出期限（プロポーザル提出済みの方のみ論文提出可能）

Concurrent Session

- ・大学教員，博士課程大学院生，現職教員などを対象
- ・プロポーザルの提出とその承認を必要とします（締め切り済）
- ・4 ページ以内のペーパー提出を必要とします（論文提出期限：6 月 30 日）
- ・提出されたペーパーはオンライン上で公開
- ・ペーパーとプレゼンテーションはすべて英語

Roundtable Session

- ・主に修士課程大学院生，学部生を対象
- ・プロポーザルの提出とその承認（確認のみ）を必要とします（締め切り済）
- ・概要あるいは2 ページ以内の論文提出を必要とします（概要／論文提出期限：6 月 30 日）
- ・提出された概要／論文はオンライン上で公開されます
- ・概要／論文とプレゼンテーションはすべて英語です
- ・優秀発表者には「Young Scholar Award」が授与されます（発表者全体の 20%程度）
- ・学会 1 日目（8 月 21 日）終了後に参加者間の交流を目的としたインフォーマルセッションを設けています

■学会までのスケジュール（プロポーザル・論文提出・参加申込期限）【厳守】

- ・プロポーザル提出（Concurrent・Roundtable Session）：締め切り済
- ・論文提出（Concurrent Session）：6 月 30 日（日）
- ・概要／論文提出（Roundtable Session）：6 月 30 日（日）
- ・参加申込（プレゼンテーション予定者・参加者両方）：7 月 31 日（水）

※プレゼンテーション予定者は，必ず参加登録・参加費支払いも済ませてください（期日までに参加登録が行われなかった場合は，発表取り消しとなります）

※プレゼンテーションを伴わない参加者も，必ず期日までに参加登録を済ませてください

■参加費

参加費支払いページ：<https://2024icome.peatix.com/>

- ・会員（JAEMS/JSET の正会員）：15,000 円
- ・一般（上記の学会の非会員で，学生以外の方）：18,000 円
- ・学生（博士課程・修士課程・学部生）：4,500 円

※参加費の支払いは，Peatix にて行います。

■問い合わせ

ICoME2024 に関するお問い合わせは，以下のメールアドレスをお願いいたします。

contact@icome.education（日本語可）

2023 年度第 2 回研究委員会 研究会のご報告

テーマ「先端技術・教育データの利活用と教育メディア／一般」

研究委員会（国内担当）

2023 年度第 2 回研究会が、2024 年 3 月 17 日（日）に、長崎大学文教キャンパスで開催されました。今回の研究会も前回に引き続き、対面およびオンラインでのハイブリッド開催となりました。

研究会のテーマは「先端技術・教育データの利活用と教育メディア／一般」として発表の募集を行いましたところ、36 件の発表（対面発表：28 件、オンライン発表：8 件）がありました。また、対面とオンラインを合わせまして、70 名（対面参加：44 名、オンライン参加：26 名）にご参加いただくことができました。特に、3 月の開催ということもあって、修士論文や卒業論文の研究成果ということで、学生さんの発表も多数ございました。

研究テーマに関連した内容としては、VR・AR の技術を利用した教材開発や生成 AI の活用に関する研究に加えて、データサイエンスに関わる研究など、先端技術や教育データの利活用に関して多様な報告がありました。

本研究会では、対面・オンラインに関わらず、すべての発表者の皆さまに Zoom にアクセスしていただき、画面共有をすることで発表をしていただきました。なお、対面の発表会場では、制御 PC を一台設けて、スクリーンに発表資料を提示させていただきました。

発表者の皆さまに Zoom にアクセスしていただくようにしたため、ネットワーク接続でのトラブルも想定されたのですが、特に大きなトラブルもなく、無事に研究会を終えることができました。座長を務めてくださった皆さま、ご参加の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。



文責：瀬戸崎典夫（長崎大学）

2024 年度第 1 回研究委員会 研究会のご案内

テーマ「探究的な学びとメディア／一般」

研究委員会（国内担当）

日 時 2024 年 7 月 28 日(日) 10:00–17:00（発表件数により変更の可能性あり）

会 場 中京大学 名古屋キャンパス

〒466-8666 愛知県名古屋市昭和区八事本町 101-2

<https://www.chukyo-u.ac.jp/information/access/>

担 当 小島 亜華里（奈良教育大学）

主 催 日本教育メディア学会

予測困難な現代社会では、直面する未知の状況に対応するために、主体的に向き合い、玉石混淆の膨大な情報から何が重要か判断し、自ら問いを立て、その解決を目指していくことが求められます。学校教育においても、そうした探究的なプロセスを通して学ぶことが重視されています。また、メディアを活用して、個々の特性等にあった多様な方法で学習を進めることや、時間的・空間的制約を超え、多様な人たちと協働しながら学習することが期待されています。そこで、今回の研究会では「探究的な学びとメディア」に関する研究発表を募集します。また、テーマに関連した研究に限らず、教育メディアに関する幅広い発表（一般）も歓迎いたします。皆さまのご参加・ご発表をお待ちしております。

■開催方法

現地での対面開催とオンラインによるハイブリッド開催です。発表者は、申込時点で対面による発表かオンラインによる発表か選んでいただきます。対面参加者は、オンラインを含むすべての発表に参加・質疑ができます。オンライン参加者は、すべての発表を聞くことができますが、質疑はオンライン発表についてのみ可能です。

■発表申込締切 2024 年 5 月 31 日（金）

■原稿提出締切 2024 年 6 月 30 日（日）

■参加申込締切 2024 年 7 月 27 日（土）

■投稿料（2024 年度より JSTAGE への掲載のため有料となりました）

会員：1,500 円

非会員：2,000 円

発表お申し込み時点で下記 Peatix サイトからチケットを購入してください。

■参加費

無料

■参加・発表申込

Peatix のサイトからお申し込みください。発表しない方、第一発表者以外の共同発表者の方も参加申込が必要です。

<https://240728jaems.peatix.com/>

■その他

発表に関する詳細は、以下をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://jaems.jp/meeting/guideline.html>

論文投稿のご案内（募集）

編集委員会

『教育メディア研究』特集号（Vol.31, No.2）「教育メディアの活用と協働学習」の募集について
2024年8月20日を締め切りとして、2025年2月末に発刊を予定しております。

今日、学校現場では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、様々な授業で協働学習が実施されています。また、協働学習は、小中学校での授業実践に留まらず、大学等の高等教育や、学校や企業での研修においても盛んに行われつつあります。

協働学習とは、ただ単に複数の学習者が共に学ぶということではなく、同じ目標の達成に向け、力を合わせて学ぶことであるとされています。したがって、そこには、従来のグループ学習のように、学習者同士が言葉を交わしながら目標を達成するために取り組む場面もあれば、役割分担をして、それぞれが自由進度で学習を進め、目標を達成するために互いの学習を調整し合う場面も存在するのです。

このように、目標達成に向け、様々な形態で力を合わせながら学習を進めていく上で、教育メディアが、学習者の学びを支えてくれます。現在、学校現場では学習者一人一人に教育メディアの一つであるタブレットPCが配付され、それらを活用しながら学習を主体的に進めていく姿を求めた授業実践が増えています。例えば、教科書や書籍等のアナログの教育メディアから収集した情報を協働で整理・分析したり、収集した情報をオンライン上で共有しながら、協働して考えを創り出したりする実践が行われています。また、社会活動においても様々なメディアを活用し、それらを用いて他者とつながりながら仕事をしたり、日常生活を送ったりする社会が訪れています。

このような背景から、教育メディアを活用して協働学習をすることに大きな意味があるように考えます。そこで、本特集号では、教育メディアの活用した協働学習についての研究を、初等中等教育・高等教育・社会教育といった様々な分野から募集します。

- ・協働学習を促進・支援するための教育メディアの活用についての研究
- ・教育メディアを活用して実施した協働学習の授業及び研修等の設計についての研究
- ・教育メディアを活用した協働学習を実施する際の教育環境についての研究
- ・学習者が主体となって協働学習を進める際の教育メディアの活用についての研究

上記の例示にとらわれない新分野の研究や理論研究、実践研究、調査研究など様々なアプローチから、今後に活かせる成果を期待します。

また、同時に一般論文も広く募集いたします。一般論文は随時受け付けています。多くの会員からの投稿をお待ちしております。

「投稿規程」(<https://jaems.jp/journal/kitei.html>)を熟読の上、「テンプレート・投稿方法」のページから登録と投稿を行ってください(<https://jaems.jp/journal/guideline.html>)。

多く会員からの投稿をお持ちしております。

以上

第10期 第9回理事会（定例） 議事録

[日 時] 2024年4月27日（土）14:00-16:15

[場 所] テレビ会議（Zoom）で結び実施

[出席予定者]

会長：中橋雄

理事：宇治橋祐之，村上正行，浅井和行，池尻良平，市川尚，稲垣忠，岩崎千晶，小柳和喜雄，岸磨貴子，

黒上晴夫，小林祐紀，今野貴之，鈴木克明，関戸康友，泰山裕，高橋純，寺嶋浩介，堀田博史，中川一史，永田智子，山本良太，渡辺雄貴，渡邊光浩

監事：佐々木輝美，久保田賢一

事務局：高林友美

欠席：後藤康志，佐藤和紀，佐藤慎一，堀田龍也

<審議・報告事項>

（1）理事の退任及び就任の件

昨年度の年次大会委員を務めていただいた石井芳生理事の退任，および今年度の年次大会委員を務めていただく渡邊光浩氏を新規理事として選出することについて説明があり，審議の結果承認された。

（2）入会者・退会者・除籍者について（事務局）

前回理事会以降の入会者・退会者について説明があり，審議の結果承認された。

（3）2023年度事業報告・2024年度事業計画について（事務局）

2023年度事業報告・2024年度事業計画について説明があり，審議の結果承認された。

（4）2023年度決算報告（事務局）

2023年度決算報告について説明があり，審議の結果承認された。

監査の結果，正確な報告だったことの説明がされた。

（5）年次大会委員会

第30回年次大会（2023年度）の参加者数について報告があった。

第31回年次大会（2024年度）の時程案について説明があった。

第 31 回年次大会（2024 年度）の参加申込のスケジュールについて説明があり，審議の結果承認された。

第 31 回年次大会（2024 年度）の大会参加費と懇親会費について説明があり，審議の結果承認された。

第 31 回年次大会（2024 年度）の課題研究の申込状況と，現在の 3 つの課題研究で進める旨について説明があり，審議の結果承認された。

（6）編集委員会（国内担当）

論文誌の査読・刊行状況が報告された。

2024 年度の計画が報告された。

編集委員の交代について報告された。

EBESCO への登録状況について報告された。

（7）編集委員会（国際担当）

論文誌の査読・刊行状況，および査読・電子出版システム(Open Journal System)の運用状況が報告された。

2024 年度の計画と，DOI 付与を検討している旨が報告された。

（8）研究委員会（国内担当）

第 2 回研究会の実施結果が報告された。

2024 年度第 1 回・第 2 回の研究会のスケジュールが報告された。

研究会投稿料の設定，J-Stage への掲載，それに伴う研究会の予算追加について説明があり，審議の結果承認された。

（9）研究委員会（国際担当）

ICoME2024 の準備状況が報告された。

今年度の研究委員会（国際担当）の予算案について説明があった。

（10）広報委員会

WEB サイトの改修状況について説明があった。

2023 年度の事業報告について説明があった。

2024 年度の事業計画が報告された。

（11）企画委員会

2024 年度の計画としては，10 月 6 日の年次大会の特別セッションとして「現職教員のための実践研究はじめの一步」を実施する予定であることが報告された。

（12）日本教育メディア学会論文賞選考委員会

今後のスケジュールが報告された。

(13) 2024 年度予算案（事務局）

2024 年度予算案について提案があり，審議の結果承認された。

(14) 選挙について

宇治橋理事，黒上理事，永田理事の 3 名を委員として選出することについて説明があり，審議の結果承認された。

(15) 学生研究奨励賞の創設について

学生研究奨励賞の創設について説明があり，審議の結果承認された。

(16) その他

KAEIM と JAEMS の連携強化に向けた打ち合わせ結果について報告があった。

次回理事会開催について確認された。

以上

学会費納入のお願い，入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日）の年会費（正会員 7,000 円，学生会員 4,000 円）が未納の方は，会員システムからお手続きください。学会 HP の「会員マイページ」よりアクセスいただくことが可能です。事務手続きの漏れを防ぐためにも，会員システムを通じたお支払いにご協力ください。

銀行振り込みをご希望の場合，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

| |
|---------------------------------|
| 銀行名：ゆうちょ銀行 |
| 種目：普通 |
| 店番：418 |
| 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） |
| 口座番号：0865850 |
| 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガッカイ） |

※ゆうちょ銀行口座からの振り込みの場合は，下記記号番号をご利用ください。

記号：14160

番号：8658501

※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座から ATM を使って納入いただく場合，手数料は無料です。

※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，**振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」**にして下さい。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。

※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。

※ 学生会員は、会費納入に併せて年度ごとに学生証などの証明書類のスキャンまたは写真データを会員システム経由で事務局宛に提出してください。卒業・修了などにより学生会員の条件を満たさなくなった場合は事務局にメールでお知らせください。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」をご登録の住所に郵送しております。メールの不達、年度末の学会誌の返送が複数発生しております。確実にお届けするために、定期的に会員マイページにログインの上、登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また、まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も、この機会にマイページ登録 (<https://jaems.jp/admission/mypage/>) をよろしくお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

入会者・正会員 (6名)・・・原田 真喜子, 浅野 麻由, 稲谷 直也, 柳 憲一郎, 樋口 万太郎,
石田 千晃

入会者・学生会員 (3名)・・・田 知殷, 橋本 正隆, 丁 振堯

退会者・正会員 (8名)・・・植田 恭子, 酒井 和行, 仲道 雅輝, 保崎 則雄, 見上 晃, 明見 佳子,
田中 洋一, 吉村 聡志

退会者・学生会員 (3名)・・・守屋 久美子, リク メイヨウ, 劉 煒

除 名・正会員 (2名)・・・城井 順一, 坂口 朋子

除 名・学生会員 (1名)・・・松村 菜摘子

会員種別変更 学生会員→正会員 (3名)・・・宇佐美 健, 渡邊 菜月, 高橋 敦志

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。会費の納入状況についてご不明な点がございましたら、事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 385名・12団体

名誉会員 : 7名*

正会員 : 320名

学生会員：65名
団体会員：6団体
購読会員：6団体

(2024年5月15日現在)

*会員総数に含まず。7名の氏名は学会HPにて公開。

◆ 学会通信アーカイブ作成ご協力をお願い ◆

本学会は定期的に学会通信を発行し、学会HPにて公開しています。現在、一部未公開となっている学会通信も揃えられるよう、学会事務局では以前の学会通信を探しております。お手元に第1-16, 18, 27号が紙もしくはデータ等で残っている場合、学会事務局(office@jaems.jp)までお知らせください。ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

| | |
|--|---|
| <p>日本教育メディア学会 事務局 〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1 明星大学 教育学部 今野貴之 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/</p> | <p>広報委員会 委員長 岩崎千晶 (関西大学) 副委員長 永田智子 (兵庫教育大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 尾崎拓郎 (大阪教育大学) 高橋暁子 (千葉工業大学) 多田泰紘 (京都橘大学)</p> |
|--|---|